

鳳陽

第177号

令和5年1月15日

発行所 一般社団法人 鳳陽会
(山口大学経済学部同窓会)

〒753-0089 山口市亀山町3-1

TEL・FAX (083) 924-4361

E-mail: houyou99@crocus.ocn.ne.jp

印刷所 株式会社マルニ

—— 開学の祖「上田鳳陽」先生 (1769～1853) の教えを汲み ——



元乃隅神社 (長門市)

(撮影 学18 田中 節生)

令和5年 新年のご挨拶



一般社団法人 鳳陽会

理事長 松永 昭博 (学21)

新しい年を迎えました。山都・山口の一の坂川の流れは今日も清らかです。同窓の皆様は清々しい正月を過ごされたことでしょう。

◆語り合える友

新型コロナウイルスの終息はまだ見通せませんが、行動様式は大きく変わりつつあります。自宅に籠ることなく、外へ出て積極的に人や地域との交流を深めてはいかがでしょうか。

人と会って会話を楽しむ。これが大事です。山口大学経済学部同窓生は心おきなく語り合える友です。3人、4人と集まって旧交を温める機会を設けるのもいいかもしれません。

長い間、同窓会活動は大きく制限されましたが、山口や東京・京滋・岡山・福岡など各支部が感染対策を行ったうえで支部総会を開催しました。地域の同窓生らとゴルフを楽しむことも増えたようです。

昨春秋、うれしい出来事がありました。山口と東京の同窓生らが中心となって実行委員会を結成し、山口市堅小路周辺で音楽やアートなどのイベントを開催したのです。

私も学生時代、堅小路に下宿

していました。青春の街が活性化することを願っています。

◆地域で活躍を

山口大学経済学部では、地域・地元密着型を志向する学生が増えていくようです。

中国・九州地方の企業や公共機関に就職する傾向が進んでいます。都会への一極集中ではなく、地方分散型はいい傾向だと思います。私が駐在していたドイツでは地元で就職する若者が多く、誇りを持って地域に根付き、活躍しています。

強く、高い志を抱き、地域社会のリーダーとして貢献、活躍されることを願っています。

◆通常(全国)総会

さて、懸案の通常(全国)総会について同窓の皆様はどのような考えでしょうか。

前年、私たちは3年ぶりに対面による通常の形で開催したく広島支部に開催の担当をお願いしました。広島支部の方々には献身的に事前準備に取り組んでくれました。

しかしながら、昨年3月、理事会を開催して感染状況を分析したところ、やはり全国から同窓生が集まって総会を開催するには無理があるとの最終判断を

行なったのです。

このため、大幅に規模を

縮小して山口で開催すること

を決定。少人数のみが出席し、書面による決議を行いました。

しかし、最近では情勢が変わっています。海外からの

日本訪問や県境を越える移動も活発になってきました。

今年こそ、通常総会を開催したい。全国の同窓生の方々と交流したい。そう

願っています。

◆美しき山河

山口は春夏秋冬、季節の

移ろいを感じる街です。学生時代に親しんだ旅館、食堂、喫茶店は今も健在です。

鳳凰山や鴻の峰、一の坂川や樫野川。美しき山河は

不変です。

母校・山口大学経済学部は

亀山から吉田キャンパスに移転しました。半世紀の歳月を経て樹木が育ち、緑

学園だより

在学生2名・卒業生1名

論文式試験合格 10代での合格者誕生

職業会計士コース委員会委員長 山下 訓

令和4年(2022年)11月18日(金)に金融庁より公

認会計士論文式試験の発表があり、本学経済学部職業

会計士コース所属4年生布村さんと2年生図師さんの

2名が合格しました。卒業生の向山さん(学67)も働き

ながら勉強して合格されました。今年度の合格者は、

1,456人で合格率は、7.7%という狭き門でした。

布村さんは、2年生8月(新型コロナウイルス感染症

のため5月から延期)での「短答式試験」に合格しました。これは数少ない2年生5月短答合格への道筋をつ

けた。これは数少ない2年生5月短答合格への道筋をつ

けてくれ、後に続く後輩に良い影響を与えたことに本

当に感謝しています。その後の学習でも集中力が途切

れることなくよく頑張ってくれ合格し、本当に嬉しい限りです。

図師さんは、大学2年生で合格という歴史を職業会

計士コースに作ってくれま

した。高校3年生で「日商1級」に受かり、大学1年生で「税理士試験の財務諸

表論」に合格し、2年生5月で「公認会計士短答式試験」合格、同8月「公認会

計士論文式試験」合格と順調に学力を伸ばしていった

という点で感服という言葉しか出てきません。私が助

言したことといえば、1年生2月に短答に受かりそう

だと分かったので、論文式の租税法の勉強を始めろ、

時間が無いからランクAの基礎問題だけやれ、経営学の

ブラック・シヨールズ式は本当に理解しようとする

と案外難しい時間もないから理解は諦めて覚えろ、そのうち分かる日が来る、

豊かな学び舎となつていま

す。構内にはおしゃれなカフェが開店。若い学生たち

が談笑しています。

一度、山口を再訪されてみてはいかがでしょう。青春の記憶が蘇ります。脳が

活性化しますよ。

最後に令和5年が皆様にとつてよき年となりますよう祈念して新年のご挨拶といたします。

の2点だけです。職会事務

室の杉山さんも職業会計士コース自習室に行くとい

つも図師さんは勉強してい

て、表彰ののだと感心して

いました。集中力の勝利と言

えるでしょう。

また、卒業生の向山さん

は一度就職した後、同級生

11名が会計士・税理士に受

かっていることもあり奮起

して挑戦する気になったよ

うです。田中大丸さん(学

20)の事務所で働きながら

勉強した時期もあり、田中

さんには大変お世話になり

ました。衷心より御礼申し上げる次第でございます。

今年度も公認会計士・税理士になろうという目標をもった1年生40名を職業会

計士コースに迎えました。早速、1年生から「税理士

試験の簿記論」に合格した

との朗報がありましたので

在学中5科目合格の計画を立てております。今年3月

には奨励生試験を実施し、柳上様のご厚意を活かし、

奨学金を給付させていただきました。今後とも鳳陽会皆さまからの御

指導御鞭撻のほど、宜しく

お願い申し上げます。

◆経済学科 小西真央

私は住宅業界の某大手ハウスメーカーに就職を決

めました。その就活の軌跡をこれから述べていきます。

私が、就職活動を始めたのは、大学3年生の6月か

らです。新型コロナウイルスの影響もあり、就職活動

の早期化しているのを、SNS、山口大学の就職支援

室で知ったため、早めの行動を心掛けていたからで

した。その頃は、周りで就職活動を行っている友達は少

なく、私も、就職活動に関

して何も分らない状態で

した。まず、マイナビとい

う就職支援アプリを登録し、住宅業界、金融業界、

薬品業界、不動産業界など、手さぐりにエントリーを行

いました。マイナビは、山口大学の就職支援室を通

して知った媒体です。その時点では、業界は絞ってお

らず、大学2年生で宅地建物取引士、ファイナンシャル

プランニング技能士2級を取得していたため、住宅、不動産、金融業界を中心に

格を取得したのは、大学1

年生で不動産に関するアルバイトを経験し、不動産に

興味を持ったからです。その段階では、業界を絞らず、

自分の性格、興味にマッチする業界を見極めようと考えていました。

そして、大学3年生の6月末に初めての不動産業界

の某企業のインターンのためにES、面接を経験しま

した。インターネット、マイナビ、山口大学の就職支

援室を参考に用いて、自己PR、ガクチカなどを作成

し、6月という早い時期で、倍率が低かったのか書類選

考に通過しました。続いて、山口大学の就職支援室

のアドバイザーを参考にする

とともに、ESの熟読を繰り返

り返し、面接に臨みました。身なり、敬語、積極性を意

識し、面接も通過し、インターンに参加することが決

まりました。インターンは7月に3日間対面で行われ

ました。初めてのインターンであり、某有名私立大学

の学生もいたため、雰囲気

わたしの就職活動

まいりました。また、参加している学生の話を聞くと、私よりはるかに就職活動を進めていました。そこで、就職活動とは、山口大学内ではなく、全国規模で戦っているのだと痛感しました。その経験から、就職活動に関する考え方が変わりました。そこから夏までに、約20社の企業のインターンを受けました。そして、1つ1つのインターン、面接に目的意識を持って取り組みました。その結果、大学3年生の夏には自分が将来就きたい仕事は、住宅営業である行きつきました。そこからは、住宅業界に絞り、就職活動を進めていきました。

そして、夏には、住宅業界の中で、第一志望を定め、その企業を目指し、就職活動を行いました。その企業に決めたのは、夏のインターンに参加し、企業理念、商品、福利厚生、お客様の幸せを考えた時の会社の取り組みに共感したからです。その企業のインターン参加者限定の早期選考をいただいていたため、大学4年生の3月には、内定をいただき、私は就職活動を終えました。

◇経営学科 職業会計人コース

末川智加

私は、4年生の4月から就職活動を始めました。始めた時には、勤務地やどのような業界に就職したいのかなどは既に決めていたのですが、業界選択には困りませんでした。というのも、私は職業会計人コースに所属していたため会計や税務といった専門的な知識を有する職種に就きたいと思っていたからです。そのため、私は自己分析に力を入れ面接対策を強化することに多くの時間を使うことができました。

企業に私という人物を知ってもらうために、まずはマインドマップを作成してそこからとにかく思いつ

くエピソードを就活ノートに書き出していきました。その他にも、自分のことを客観的に分析してもらう他、自己分析も利用し自己理解を深めていきました。自己分析を進めながら他の就活生に劣ることがないように、アルバイト先の店長やスーパーバイザーの方に面接練習をしてもらいました。そして、改善点や工夫する点など様々なアドバイスをいただき、とにかく面接に慣れることや、自分らしく、分かりやすく伝えることを意識しながら、練習に励んでいきました。その一方で、企業選びにはとても苦戦しました。そこで私は、予め決めていた勤務地に存在する業界の企業情報を大手企業・中小企業・個人企業のすべてを調べて、企業側が開催している会社説明会に参加し、ホームページを見るのはもちろん関連する記事の情報なども集めました。そこで気になる企業をリストアップし、更に情報収集し、自己分析と面接対策を強化した結果、第一志望である企業様から内定をいただき、自己分析力の高さと対応力の高さを評価していた

だきました。就職活動を振り返ると、真剣に自分と向き合うことができる貴重な経験であったと感じました。就活をする中で、たくさん悩みましたし、不安になったり嬉しかったり、一喜一憂しましたが、人生の中で一番、自分のことを知ることができた良い機会でした。だからこそ、この期間は私にとって価値のあるものでもありました。私が就活をしていて思ったことは、自己分析を納得いくまで続けるということ、自分の言葉で伝えることが大事であるということです。

就職活動では、不安になったり他の人と比べてしまいがちですが「就活中の人はみんな思っていることは同じだ」と吹っ切れることも必要です。そして1日中、就活に時間を使うのではなく、趣味の時間やリフレッシュする時間をつくることも大切です。自分のペースでしっかりと進めていく方が結果につながりますし、決して焦る必要はなく、逆にその状況を楽しんで就職活動をしてもらいたいです。



HITACHI
Inspire the Next

LOGISTEEDは、進化をやめない。

IoT、AI、ロボティクス、フィンテック、そしてシェアリングエコノミー。物流を超えたさまざまな領域の協創パートナーとともにめざすのは、世界がまだ知らない新たなイノベーションだ。そしていま、長年培ってきた物流現場力に、先進のデジタルイノベーションを掛け合わせることで、新たな市場を形成するプラットフォームとなるために動きはじめた。LOGISTEEDの進化は、止まらない。

物流は新領域へ

LOGISTEED



株式会社 日立物流

未知に挑む。



日立物流

◆経営学科

SHAOSHUAI

私は、4年生の春から就職活動を始めました。中国の会社に就職するので、同級生より就職活動を始めるのが遅かったのです。私は留学生として山口大学経済学部で勉強しています。高校の時、村上春樹の作品が好きで、異文化を体験しながら、一つの外国語を勉強したいと思い、日本に留学することを決めました。日本に来て、日本人の親切さに感動しました。日本へ留学に来てよかったと思います。日本語学校での日本語の勉強を経て、将来、日中貿易に関わる仕事に就き、日中の架け橋になりたいと思います。私は山口大学経済学部に入學しました。大学に入學して最初のとき、卒業して日本の会社で働こうと思いましたが、コロナ禍の影響で、一年生の後期から一度も中国に帰っていないので、一人っ子として親に愛されて育った私は家族を懐かしんで、日本を離れることを惜しみながら、卒業後は中国に帰って中国で働くことを大学3年の春休みの時に決めました。

私が所属しているゼミは経営分析をやっています。ゼミでは、よく有価証券報告書を使って会社の経営分析を行っています。有価証券報告書を読むことで、私はたくさん日本企業が中国に進出していることを知りました。中国に帰っても、身につけた日本語を活かすため、中国で事業を展開している日系企業に就職しようと思います。日本の新卒向けの就職活動と違い、中国では、9月1日に新学年が始まるので、新卒の就職活動は4年生になる前の夏に始まり、2つの時期(9月～11月、3月～5月)に分けて行われます。また、中小企業は新卒の通年採用も行います。3年生の春休みに中国で働くことを決めた後、私はインターネットで中国の就職情報について調べました。新型コロナウイルス禍の影響で、日本と同様に、オンライン面接を導入する企業が多くなっています。そのため、私が日本から中国の企業に就職することは可能となります。4年の前期に、私は卒業論文の準備をしながら、自分のペースで就職活動の準備を進めていました。夏休みに中国の就職アプリで数社にエントリーをして、面接の機会をいただきました。日系企業なので、私は日本語で面接を受けて、内定をいただきました。



世界経済のグローバル化によって、多国籍企業が増加しており、国際的な仕事に就く機会も増えていきます。オンライン採用やテレワークの導入によって、外国語を身に付ければ、日本だけでなく、世界のどの企業にも就職できることになります。国際的な仕事をしたいと考えている後輩の皆さんは、ぜひ大学在学中に語学の勉強に力を入れて、後悔しないような就職活動に向けて、しっかりと情報収集や就職の準備を行ってください。

支部だより

名古屋支部

第三六回

懇親ゴルフ会の開催

令和四年十月二十九日(土)、第三六回懇親ゴルフ会を「森林公園ゴルフ場(愛知県)」で開催しました。新型コロナウイルス感染が少し収まってきた中での開催ではありましたが、土曜日に開催できたこともあって現役で仕事を続けている若い方の参加も多く、久しぶりの賑やかなゴルフ会となりました。また、今回、笠井裕(学19)さんを新メン



バーに迎え、皆さん適度な緊張感を持ったラウンドとなつたのではないかと推察しています。

当日は晩秋とはいえ大変穏やかな晴天に恵まれ、皆さん和気藹々のラウンドを楽しむことができました。

結果は次のとおりで、参加者の中で最高齢の乾昌博(学9)さんが見事に数度目の優勝を飾られました。

今回の第三七回は今春四月中旬に、岐阜県下のゴルフ場での開催を計画しています。多くの皆さんの参加を期待しています。

【成績】(敬称略)

(ダブルペリア方式)

優勝 乾 昌博 (N74.2)

準優勝 笠井 裕 (N74.8)

第三位 中谷 洋一 (N76.0)

【参加者】(敬称略)

乾昌博(学9)、吉山嘉久(学17)、笠井裕(学19)、川村恒治(学22)、中谷洋一(学29)、稲垣太門夫(学36)、大田栄治(学38)、権藤淳一(学45)、倉橋新(学53)の9名。

(川村恒治 記)

京滋支部

3年ぶり

支部総会開催

令和4年11月12日(土)、秋晴れの絶好の行楽日和の中、コロナ禍で延期していました令和4年鳳陽会京滋支部総会を京都駅前「都ホテル 京都八条」にて3年ぶりに開催致しました。

山口より令和4年4月から経済学部長となられた有村貞則様と石畠事務局長様が来賓予定でしたが、コロナ感染対策のため、有村様が急遽欠席となり、大学5期から大学29期まで総勢15名が参加しました。

はじめに、記念撮影し、物故者に黙祷した後、高商校歌をマスク着用し、黙唱して総会がスタートしました。この日の支部総会が、前身の京都支部から数えて通算805回の月例会にあたり、三坂支部長からは、諸先輩方が築いてこられた伝統を継承するとともに、関西地域3支部の代表が揃い踏みとなった今支部総会で更に交流を深め、オール関西で盛り上げていきたいとの力強い挨拶がありました。



続いてご来賓の石臼事務局長からは母校の現況報告と協力要請がありました。そして、例年通り、収支報告、監査報告があり、併せて寄贈桜の状況、支部会員動向、次年度行事予定が説明され、総会は無事終了いたしました。

表幹事様のご挨拶があり、山口県大阪事務所提供の山口観光パンフレットから原監事が山口墓参り旅行のエピソードを開陳し会場内は笑いに包まれました。初参加の白橋渉様のスピーチで盛り上がりも最高潮のところ、檄を飛ばし、全員でマスク着用ながら鳳陽寮寮歌、大学学生歌を心の中で熱く黙唱、昨年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に勝るパワーを爆発させました。

最後に京滋支部前代表幹事の西田先輩からご挨拶と力強い一本締めで、来年も元氣にお会いしましょうと約束し、散会いたしました。

【来賓】石臼克幸 鳳陽会事務局局長(学26)

【出席者】(敬称略)

山岡誠学(学5)、森耕作(学13)、藤村守(学13)、西田稔(学15)、小林貞夫(学17)、三坂直彦(学18)、安谷國生(学19)、白橋渉(学19)、川原章(学19)、河村正昭(学21)、上田功(学21)、田中誠二(学23)、原英一(学25)、羽根彰(学29)

(川原記)

大阪支部

―関西ゴルフ三経戦開催―

鳳陽会団体優勝―

令和4年11月20日、第2回関西ゴルフ三経戦が開催されました。(今回の主催幹事は鳳陽会大阪支部羽根支部長(学29)、取り纏め幹事弘田さん(学31)参加者の内訳は、山口大学鳳陽会16名・長崎大学瓊林会14名・大分大学関西四極会12名でした。

当日は早朝まで雨で、天気が心配でしたが、会場の関西クラシックゴルフ倶楽部に行ってみますと、打って変わって全く影響なく、11組42名の皆様が楽しく懇親しながらプレーし、無事に開催できました。

特に、各組ともに3大学OBが1人に入る組み合わせで、大学時代の三経戦を振り返りながらプレーされた方が多いと思います。通常のコンペと相違して面白い会話ができる機会になりました。長崎や大分から就職等で関西に縁があつて居るを構え、また転勤の数々談義など、初めてお会いするにも関わらずアイデンティティが類似していることが

ら一気に親しみを感じ、良い企画コンペと感じた次第です。

成績は、団体戦は鳳陽会が優勝、第二位は瓊林会、第三位は関西四極会という結果です。次に個人戦では優勝は大道さん(学34)、準優勝は草野さん(学29)と鳳陽会がワンツーフィニッシュとなりました。また、トピックとして、鳳陽会メンバー16人のうち、ベストグロス江藤さん(学31)で鳳陽会ベスグロ賞です。加えて、鳳陽会女性ゴルフアールとして2名が参加し、活躍いただきました。

そして、事前準備から当日進行まで、全体の幹事をされました弘田さんが、段取りよく、かつ名司会によつて素晴らしいコンペが開催され、非常に有意義な懇親イベントとなりました。大変ありがとうございました。ご参加いただきました皆様、お疲れ様でした。最後にありますが、全国の鳳陽会会員の皆様に、コロナ禍ながらこのようなゴルフイベントがスタートし、第2回目が開催されたことを



お知らせすると共に、来年は瓊林会の幹事にて、第3回の関西ゴルフ三経戦が開催される予定であります。鳳陽会の皆様(関西圏)、何卒次回は奮っての参加をご検討いただければ幸いです。よろしく願います。

【参加者】

坂本正志(学22)、井上純一(学27)、谷信(学28)、羽根彰・草野浩一・松尾哲夫(学29)、田中尚夫・徳山博詞(学30)、江藤浩・弘田功(学31)、大道学(学34)、北條慶子(院13)、田益歳三(学38)、住徳浩之(学40)、松本信昭(学41)、内田沙織(学64)

(徳山博詞 記)

岡山支部

―第8回山口大学―

岡山連合同窓会を開催―

令和4年11月27日(日)、岡山市の「サン・ビーチOKAYAMA」で、第8回山口大学岡山連合同窓会を開催しました。山口大学岡山連合同窓会は、霜仁会岡山支部、常盤工業会岡山地域同窓会、農会岡山支部、鳳陽会岡山支部、岡山県内在住の山口大学卒業生を会員とする連合同窓会で、平成13年に第1回目を開催して以来、3年に一度開催しており、今回で第8回目を迎えました。

連合同窓会の開催を計画する段階では、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が減少していましたが、具体的に準備を進め、開催日近くなったときには、感染の第8波が到来し、開催できるものか危ぶまれる状況になっていました。こうした状況の中、今回の開催引受・当番同窓会である医学部の同窓会、霜仁会の皆さんが専門的な知見に基づいた万全の感染予防対策を講じて開催することとなり、総勢44名が参加、盛会の中

「鳳陽会」は、皆様方の年会費を基本にして運営しています。

ちに無事終了することができました。

なお、連合同窓会の開催に先立ち、各学部の同窓会毎の支部総会が開催されました。鳳陽会岡山支部ではコロナ禍の影響で開催を見送っていた支部総会を3年ぶりに開催しました。当日は経済学部から昨年4月に経済学部長に就任された有村貞則学部長様、また、鳳陽会本部からは石畠克幸常務理事・事務局長様のご臨席を賜りました。

有村学部長様からは、最新の情報も含め現在の経済学部の状況をご紹介いただきました。このコロナ禍、逆風の中で学生の皆さんの奮闘ぶりです。大学2年生で公認会計士試験に合格、また、野球部に在籍、活躍しながら中小企業診断士試験に合格した経済学部生がいるそうです。将来の鳳陽会会員のふ卵器(インキュベーター)である経済学部の中で、「ピンチをチャンスに変えて、頑張っている学生の姿」のお話を拝聴し、頼もしく思いました。

同窓会毎の支部総会終了後、引き続き、連合同窓会

の総会を開催しました。その後、昨年4月に新たに山口大学長に就任された谷澤幸生学長様の「山口大学の目指すもの」という演題のご講演がありました。2030年を見据え、次の山口大学のあるべき姿について、大変熱のこもったご講演をいただきました。

その後、参加者全員での集合写真を撮影し、各自のテーブルに個食を配膳した会食方式での懇親会に移り、鳳陽会会員同士、さらには学部間を超えて親交を深めました。

このように盛会裏に総会を開催することができましたが、例年ご参加いただいていた先輩方の一部に、健康に配慮され不参加となったケースがあり一抹の寂しさを感じました。例年、鳳陽会会員の皆さんには15名前後のご参加をいただいております、今回も当初は高商44期から大学52期までの幅広い参加申し込みがありましたが、最終的には7名の参加に止まりました。

次回開催時の総会には鳳陽会岡山支部の会員の皆さん誰もが安心して参加できる環境が整い、再会できま

すことを心より祈っております。

最後になりましたが、当初は開催すること自体も危ぶまれた鳳陽会岡山支部総会、山口大学岡山連合同窓会の開催に当たっては、鳳陽会本部、東京支部等にご相談したところ、心強いアドバイス、ご支援をいただき、開催に漕ぎ着けたことを鳳陽会会員の皆様にご報告させていただきます。

当日のご来賓

有村貞則経済学部長様、石畠克幸鳳陽会常務理事様
当日の出席者

高見正孝岡山支部長(学24)、河上利巳(学7)、雄龍清志(学27)、人見慶二(学27)、野澤佳司(学32)、内藤和博(学32)、虫明克志(学34)
(経済学部関係のみ記載)

文責 内藤



住所・氏名等、変更された場合はお知らせください

住所・勤務先など変更がございましたら、事務局までご連絡ください。

連絡方法は下記の通りです。よろしくお願いいたします。

TEL & FAX : 083-924-4361

Mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp

ホームページ (<http://www.houyou.or.jp/>) からの変更手続きも可能です。

是非ご活用ください。



鳳陽会

検索

「鳳陽」の配布について

「鳳陽会」は、年会費、賛助会費、入会金で運営しています。会費を納入されている会員への還元を念頭に、機関誌「鳳陽」の配布を下記の要領で実施しています。

会 員	1年間の 配布回数	会 費
年 会 費 会 員	3 回 (5月・9月・1月)	3,000円／年
賛 助 会 員 (終 身)	3 回 (")	50,000円
贈 呈 者	大学関係者、及び在学生 新卒業生には卒業後3年間	

上記以外の会員には 年1回、5月号のみ を送付します。

「年会費払込票」について

会報の発送時期に会費を納入された方は、再度「年会費払込票」が同封される場合があります。何卒ご了承ください。(事務局)

福岡支部

―秋、コロナに負けず―

ゴルフで親睦―

一昨年はコロナの影響で、春季のみの開催でしたが、昨年は5月に引き続き、9月22日(木)、筑紫丘GCで14名の方々が参加して、秋季ゴルフ親睦会を開くことができました。

当日は天候にも恵まれ、集まったメンバーとの久々のプレイを楽しみながらゴルフに興ずることができました。同窓の友との交流は、また格別なものがあり、楽しい一日となりました。

尚、結果は、優勝は鬼木和夫(学17)(以下敬称略)、準優勝は山川賀久(学25)、



秋季ゴルフ親睦会

3位は尾崎正樹(学27)となりました。

翌月の10月20日(木)には、三年ぶりにザ・

クラシックGCで、

長崎、大分と我が山口の三大学経済学部OBメンバーが集って「三経戦」を行うことができました。コロナ下で行う「三経戦」ということで表彰式は行わず、プレイ後、三三五五の解散方式をとりました。

我が校からは15名が参加し、トータル43名のゴルフコンペとなりました。残念ながら優勝は長崎大学に譲り、準優勝となりましたが、来年は我が校が幹事校となりますので、大いに参加を募り、久々に優勝カップを奪還し校歌を高らかに歌いたいと願っております。

尚、個人戦は4位に尾崎正樹(学27)、6位に松田和男(学21)が入りました。

当日の参加者は次のとおりです。(敬称略)

【両大会】
鬼丸修一(学12)、八尋



三経戦ゴルフコンペ

洋士(学14)、鬼木和夫(学17)、林頼二郎(学18)、上田仁教学(学18)、加藤久典(学20)、松田和男(学21)、山口栄次(学25)、山川賀久(学25)、尾崎正樹(学27)、森川康朗(学29)

【秋季親睦ゴルフ会のみ】

古澤正道(学14)、岩城紀彦(学15)、川上知昭(学26)

【三経戦のみ】

木下兼吉(学13)、脇野賢一(学24)、林田光博(学24)、渡邊龍雄(学24)

(加藤記)

―「支部例会」の開催―

令和4年10月14日(金)に福岡支部としては、令和元年12月総会以来の行事となる「10月例会」を西鉄グラン

ドホテル「真珠の間」で開催いたしました。例会はコロナ禍となる前までは、年に2回ほどお昼の昼食会として平日に定期開催してまいりました。当日は、大学6期の大先輩から大学37期まで、17名の参加となり、皆さん3年ぶりの集まりとあつて、お互いの健康をたたえ、近況話に花を咲かせていました。

また鳳陽会理事をされている鬼木顧問(大学17期)からは、通常総会や大学・学部人事異動、鳳陽会の課題などの報告があり、あつという間の1時間でした。(学36 鍋島)

―令和4年度

支部総会・懇親会開催―

令和4年12月7日(水)に福岡支部では、3年振りとなる総会・懇親会を開催いたしました。

11月からまた新型コロナウイルスの第8波として、感染も増加傾向ではありましたが、恒例の西鉄グランドホテルにて、余裕を持った配席で会食形式にて開催いたしました。

当日は、従来に比べて少なめの出席数ではありますが

が、本部からは松永理事長と事務局の山下さんにご臨席いただき、総勢38名の出席となりました。

コロナ禍での活動休止時期もあつたことから、支部役員は全員再任という体制で令和5年度を迎えることになりました。

久しぶりの総会でもあり全員で記念撮影を行い、そのまま懇親会へと進み、松永理事長からはご祝辞の中で、全国の鳳陽

会の支部の現状や、若い世代へつなげていく重要性などのご挨拶をいただきました。

食事が始まつての歓談中には「山口大学創基200周年記念DVD」を拝聴しました。昔の映像を懐かしむ方や、久しぶりの再会で話に花が咲く方々、様々でしたが、多少制限がある中でも、終始なごやかに楽しく、皆様親交を温め

られていました。

閉会前は、本来、諸先輩有志の方々が壇上で音頭をとって校歌斉唱をおこなうところですが、今回はBGMとして「山口高等商業学校校歌」と「鳳陽寮寮歌」を流して、心の中で斉唱いただき、令和5年度の支部行事が予定通り行われることを祈念して、約2時間の総会・懇親会を閉会いたしました。(学36 鍋島)



寄付金納入者

ご芳名(敬称略)

令和4年8月1日〜

11月30日現在

学8 田村 義則
学22 合志 栄一
学22 川村 恒治
学36 藤井 克則

動 静

住所変更

★高商経専の部

経43 原田 忠雄

謹んでお悔み
申し上げます。



★高商経専の部

原田 哲郎(経38) 3・12・16
吉田 康夫(経38) 4・6・20
白石 通文(経39) 3・8・|
藤田 要(経40) 4・7・28
藤村 高雄(経41) 23・11・12
川手生巳也(経42) 4・9・26
石井 敬士(経44) 29・|・|
上田 義雄(経44) 4・1・5
江川 洋(経44) 4・9・28
周参見 博(経44) 3・2・15
谷本 克弘(経44) 4・7・11

★大学の部

学6 常本 英昭
学7 村上 敏昭
学32 村上 浩
学37 小西 光文
学40 薬師寺重久
学40 小島 健司
学41 山口 良子
学48 神田 貴之
学52 嵯峨 悠
学53 大和多昌弘
学64 荒木 文香
学66 前田 雄太
学67 仁井山 竜
学69 御手洗花穂

学69 細川 陽

★大学の部

住所不明者
会報が返送されます。
住所をご存知の方はお知らせ下さい。

学11 白神 稔也
学41 田辺 友純
学68 大曲 祐紀
学68 岸田 健人
学68 登山 拓哉
学68 西平 和哉
学68 西村 連
学69 磯永 友香

★大学の部

有藤 利夫(学1) 4・8・5
牛尾 金典(学1) |・|・|
近藤 昭徳(学2) 4・7・|
田中 輝男(学3) 4・9・9
石井 大一(学4) 4・7・|
小柳 洋介(学4) 30・10・26
石川 邦彦(学5) 4・11・22
塚田 誠剛(学5) 4・6・21
松本 豊(学6) 4・3・25
弘中 貫之(学6) |・|・|

個人情報保護のため、詳細は掲載しておりません。詳しいことをお知りになりたい会員は本部までご連絡下さい。会員に限り、お知らせいたします。

坂口 隆志(学7) 4・7・31
平木 義致(学7) 4・5・4
内山 淳一(学7) 4・8・14
川谷昭次郎(学7) |・|・|
藤田 信博(学7) 4・9・17
網野 俊明(学12) 4・1・9
松田 征行(学12) 4・5・|
竹中 靖雄(学13) 4・9・12
村社 隆(学15) 4・5・18
岡田 耕治(学16) 2・11・10
辻 善輝(学17) 4・8・6
塚本 義明(学20) 4・12・6

第一六九回 鳳陽忌

ご案内のとおり、山口大学経済学部は、文化12年(1815年)、萩藩士であった上田鳳陽先生が創設された「山口講堂」に始まります。その後、山口講習堂、山口明倫館、山口中学等を経て、山口高等商業学校、山口経済専門学校、そして山口大学経済学部へとつながります。上田鳳陽先生に因み、昭和2年(1927年)1月、山口高等商業学校同窓会は鳳陽会と改称します。

先生は、嘉永6年(1853年)12月8日に長逝されましたので、祥月命日である12月8日には、毎年、鳳陽会山口支部が鳳陽忌を執り行っています。令和4年(2022年)12月8日には、第一六九回目となる鳳陽忌を山口市大内御堀の乗福寺で執り行いました。出席者は、午前7時、朝まだ薄暗く、冷たい凜とした空気の中、上田鳳陽先生の墓前に集合し、五十部住職の読経の中、順番に焼香を行いました。四年前



文責 石畠学(26)

までは、本堂で座禅を組んだ後、墓参してまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、屋内での三密を避けるため、この三年間は墓参のみとしています。

コロナ禍の中、鳳陽会からは、山口支部の濱田泰(学26)支部長、有江哲治(学33)副支部長、重政一慶(学50)代表幹事、合志栄一(学22)前副支部長及び石畠克幸(学26)事務局長、山口大学からは、有村貞則(経済学部部長、片山信一(経済学部事務長及び中尾淑乃(総務企画部特命担当課長)山口大学基金担当)がそれぞれ出席しました。

76歳の起業

豊かな海の森づくりを

吉川 京二さん(学16)

未来の子どもたちへ豊かな海を残したい。

鳳陽会東京支部の吉川京二さんが76歳で起業。地球温暖化対策に取り組み、豊かな海の森づくりを進めている。

吉川さんは2021年に株式会社ジャパンプルーカーボンプロジェクト(東京都板橋区)を設立した。

「ブルーカーボン」とは海藻や海草などが大気中から吸収した二酸化炭素(CO₂)のことだ。これに対し、森林が吸収するCO₂は「グリーンカーボン」と呼ぶ。

海に囲まれた日本にとって、海洋生態系を守りながらCO₂の吸収が行えるブ

ルーカーボンが注目されている。

吉川さんはパートナー企業や行政、漁協などとともに



吉川京二さん(学16)

豊かな海再生に向けて取り組んでいる。

◆山都で学ぶ

吉川さんは1945年、広島県で生まれた。山口高商の伝統を受け継ぐ山口大学経済学部に入學。鳳陽寮に入寮した。安部ゼミで学び、硬式テニス部で活躍した。

山都・山口の瑠璃光寺五重塔と一の坂川が好きで、よく訪れたという。

大学卒業後、ブリヂストンに入社。営業・マーケティング分野で仕事を続けた。日本、中国、タイで流通網の構築に取り組み、世界的企業への発展の礎を支

えた。

国内の支店長を経て55歳で独立。経営コンサルタントとなった。

◆重い病気を体験

吉川さんは数年前、重い病気を患った。入院して治療を受け、元気に回復した。そのとき思った。

「命をもらった。残された命を世のため、人のために役立てないか」

着目したのが「ブルーカーボン」だった。豊かな海再生とCO₂削減は島国日本にとって大きな課題だ。会社を設立して地球温暖化対策に取り組むことを決断した。

北海道では浅い海に広がる藻場の減少によって漁業に支障がでるようになった。北陸地方の湾では温暖化の影響もあつてブリが往時ほどとれなくなった。また、藻場の減少に伴い、ホタルイカが卵を産めなくなっているという。

なんとかしたい。現役時代に築いた地域の漁協や中央官庁、地方行政などの人脈を活かし、豊かな海再生に向けて動き出した。

◆大きなうねり

地域の漁協や行政の力を得て海藻や海草が茂る豊かな海の再生事業が始動した。北海道や青森県、富山県などで新しいプロジェクトが進んでいる。

吉川さんは「会社を設立したときは小さな運動だったが、どんどん広がって、大きなうねりとなりつつある」と語り、確かな手応えを感じている。

「ブルーカーボン」という言葉も当初はなじみがなかったが、最近では理解が進む。「この1年で驚くほど状況が変わった」

◆パートナー企業

豊かな海づくり事業を支えるのがパートナー企業だ。ジャパンプルーカーボンプロジェクト社はパートナー企業を募集しており、すでに電力会社やガス会社などが賛同している。

吉川さんは笑顔で語る。「豊かな海づくり事業は、日本の大きな課題であるCO₂削減に適している。地域の人々は喜んでいて、応援してくれる企業も増えている。76歳で起業してよかった」

◆元氣な大先輩

吉川先輩の活躍を教えてくれたのが東京支部の同期のN君だ。さっそく吉川先輩に電話。千葉県の駅前で待ち合わせ、喫茶店でじっくり話を聞いた。

表情は明るい。はつらつとしている。76歳で起業し、社会に貢献している。すばらしい人生ではないか。

(東京支部 塩塚 保)



投稿 歓迎



当会では会員の皆さまからのご投稿を心よりお待ちしております。同窓会、ゼミ、クラブのOB・OG会、学生時代の思い出、催しのご案内等何でも結構です。投稿はメール、郵便で受付しております。詳しくは事務局までお問い合わせください。

★5月15日号……(3月15日まで)

★9月15日号……(7月20日まで)

★1月15日号……(11月20日まで)

▽随感随想=1000字程度

▽ひろば=600字程度

▽本の紹介=300字程度

▽支部・同期会だより=600字程度



詩、短歌、俳句、写真など、皆さまの作品也大歓迎です。

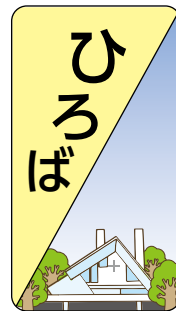


問い合わせ

株式会社ジャパンプルーカーボンプロジェクト

TEL: 03-3931-2540

E-MAIL: info@japan-bluecarbon.com



日本のクリスマスは 山口から

室町時代、山口を本拠地としていた守護大名の大内氏は、京都を始め朝鮮半島や中国大陸から様々な文化、学問、宗教を取り入れ、西国一といわれるほどの経済的発展とともに文化溢れる個性的な街づくりを行っていました。そうした中、第31代当主大内義隆は、キリスト教の宣教師フランシスコ・サビエルの布教の願いを受け入れ、天文21(1552)年、旧暦12月9日(西暦12月24日)、山口の地で降誕祭が行われます。

これが日本で初めてクリスマスが祝われた日として記録されていることから、山口市では、日本のクリスマス発祥の地として、平成9(1997)年から毎年「12月、山口市はクリスマス市になる。」を合言葉に、街中のイルミネーションやコンサートなど、「灯り」や「音楽」「食」に因んだ様々な催しが市内のいたる所で開催されてきました。



昨年の12月には、鳳陽館の建つ亀山公園の広場で、旧サビエル記念聖堂を模したシンボルイルミネーションが点灯されました。亀山公園の樹々は様々な色の光でライトアップされました。



山口大学でも、吉田キャンパス正門に「冬のイルミネーションツリー」が設置され、点灯されました。今

年で8年目を迎えるツリーの設置は、地域と大学をつなぐ冬の風物詩になっています。

その他、中心商店街や湯田温泉、新山口駅北口・南口などいたる所でイルミネーションが点灯され、瑠璃光寺五重塔や菜香亭はライトアップされました。

12月1日、サビエル記念聖堂で「クリスマス市」の始まりを祝うセレモニー、レーザー光線による光の祭典が開催されました。音楽祭やチェンバロとリコーダーのコンサートが開催され、オペラ、田楽の公演がありました。

サビエルの故郷で「美食の聖地」として知られるスペインのバスク地方の料理を音楽とともに味わう「クリスマス市祝賀祭」が開催され、市内のホテルや飲食店10店舗ではクリスマスオリジナルの限定メニューが提供されました。

冬、12月。装飾を施した「クリスマスバス」で市内を巡りながら、クリスマス市山口を楽しんでみては如何でしょうか。

文責 石畠(学26)

本号の内容

新年のご挨拶	1	2
学園だより	2	4
支部だより	4	7
動静	8	
第二六九回鳳陽忌	8	
76歳の起業		
豊かな海の森づくりを		
ひろば	9	10

事務局から

今年の干支は「癸卯(みずのと・う)」です。「癸」とは、元々は雨・露といった意味で恵みをもたらす、「卯」は穏やかなうさぎの様子から安全・温和の意味を持ちます。また、うさぎのように跳ね上がるという意味もあり、何かを始めるのに縁起がよく、物事が好転する良い年になると言われています。

コロナ禍の中、我慢の日々が続きますが、今年が良き一年になりますようお願い申し上げます。(Y)

山口銀行は スマホ1つで

いつでも、どこでも、カンタンに

口座開設も

残高照会も

お振込も

お店に行かなくても大丈夫。便利に使えるアプリです。

ポータルアプリ



ダウンロードは
こちらから⇒



この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg



山口銀行

お問合せはヘルプデスクへ

0120-307-969

■受付時間(平日・土日祝)
7:00~23:00